

市指定

所在地：今田町木津

こつすみよしじんじやの
でんがく(でんがくあどり)

木津住吉神社の田楽(田楽踊り)

木津住吉神社の祭礼に、舞堂で奉納される田楽である。田楽には「幣かたげ」「ササラ」「太鼓」「笛」の役があり、浅葱色の裃、仙台平の袴、それに白足袋の装束を付けた踊り子が、「巫女の舞」「田楽」「跳び(トートイチ)」を順番に舞う。

当田楽についての由来は史料や伝承がないため定かではないが、天明4年(1784)に書かれた「宮当規式定書」には「踊ならし」の記載があり、この時期にはすでに行われていたことが明らかとなっている。木津に近い鴨川住吉神社(加東郡社町)の神事舞が国の重要無形民俗文化財に指定されていることから見て、当木津住吉神社の田楽は貴重であり、田楽分布地域の中であって埋もれた存在と言える。



巫女の舞



田楽



田楽



跳び(トートイチ)